

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

共催

モダン館円楽一門会

七代目円楽 襲名披露特別番組

8月15日(金)14:00～16:00 (開場13:30)



圓橘
楽麻呂
道楽



王楽改め七代目円楽 + 龍澤 潤「ちなんだ話」

予約・当日とも 2,000 円 定員：50 名 ※7月25日（金）10時から受付開始

8月のカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 休館日	5 おきがる講座	6	7	8	9	10
11	12 休館日	13	14	15 モダン館 円楽一門会	16	17
18 休館日	19	20	21 キッチン 松ぼっくり 営業日	22	23	24
25 休館日	26 噺 + 話	27	28	29 おきがる講座	30 圓橘の会	31

開館時間 10:00-18:00

8月の催し

給食の懐かしい味！

キッチン松ぼっくり

8月21日(木)11:45-14:00

中華風スパゲッティ
なすのあんかけ
フルーツシャーベット



850 円



※受付は各日とも当日の10:00から(開館は10:00)
※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です
※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります

揚げパンは1個50円

写真はイメージです

共催 圓橘の会 8月30日(土)15:00～
(開場14:30)

三遊亭 圓橘 萬丸

圓朝作 怪談乳房榎 重信殺し



予約・当日とも 3,000 円 定員：50 名 ※8月15日(金)10時から受付開始



共催 噺 + 話 8月26日(火)14:00～ (開場13:30)

林家 あんこ「お菊の皿」

+ 龍澤 潤「演題にちなんだ話」

予約・当日とも 1,500 円 定員：20 名 ※8月5日(火)10時から受付開始

主催 おきがる講座 江東区の歴史を学ぶ講座

8月5日(火)14:00～15:30 「飯島喜左衛門」^再 2023年5月と同内容

※7月15日(火)10時から電話で受付予約

8月29日(金)14:00～15:30 「向井将監と御船手組」^{むかい しょうげん お ふな て ぐみ}

※8月5日(火)10時から電話で受付予約

いずれも 受講料：500円 定員：50名(要予約) 講師：龍澤 潤(深川東京モダン館)



このところいつもモダン館と

深川江戸資料館の掛け持ちガイドです



先日、桜並木も新緑となった亀戸の福神橋から北十間川沿いの散策道をスカイツリーに向かってガイドで歩いていた時。

「この川は江東区と墨田区の境界の一部です。」多摩の日野市からお越しの方から「あのスカイツリーはムサシ＝634メートルの高さといわれますが建立されている場所は武蔵の国でないのですか？」

この方の疑問は隅田川の東側は下総の国の領域で武蔵は隅田川までとの認識。両国橋は二つの国に跨って架橋したので「両国大橋」。それまで唯一既存の千住大橋は隅田川架橋で「大橋」だったので通称「両国橋」となった。その後幕府「安宅丸」保管庫そばに大橋が架橋、これを「新大橋」と呼ばれた事はご承知の通り。小生の回答「たしかに隅田川＝大川が武蔵と下総の境界ですが、大川は江戸時代以前、鐘ヶ淵あたりで二股に分流し東南へ流れていました。この北十間川がなごりなのです。」これで納得いただきました。江戸は隅田川の西側までの武蔵の国の一角なのです。

家康の当初の江戸改造計画の中で水運事業は目を見張るものでした。塩輸送のためと意義づけて掘削された「小名木川」は実は江戸城の命綱でした。坂東太郎の異名を持つ利根川の流れを現在の久喜市栗橋付近で南下から東進に変える土木工事により大湿地地帯を膨大な農耕地に変えました。一連の土木工事の結果現在の「江戸川」が千葉県との県境です。それまでは「平河」＝神田川が江戸川と称されていました。

江戸三大祭りは「神田明神」「日枝神社」に加えて「深川八幡宮」の祭りとされています。こ

れらは祭り神輿が特別に江戸城内まで向かうことが許され將軍公方さまが観閲された事が起因でした。観閲されたのは綱吉の時代に幕府により創建された根津神社（番外）は勿論でした。

江戸時代からの小名木川以南の埋め立ての進行は明治維新以降になり急速に進みました。昨中央埋立地の帰属で裁判沙汰になりましたね。江東区は埋め立て事業の実績を根拠に主張、大田区は従来からの東京都の線引きルールからするともう江東区側の主張根拠なしでした。結論は妥協としての和解でした。現況、お台場は港区ですし、その先には品川区の領域もありますからね。以前の山手諸区とのゴミ戦争の決着とも似ています。

今年になって深川江戸資料館の展示物に江戸古絵図に現在の交通機関の駅を書き入れた地図が好評。江戸時代を体験できる展示物からで現代に繋がる生活のヒントを見つけられる楽しみこれが資料館の目玉。いつもモダン館とのコラボを念頭にお客様対応しつつあるこの頃です。



(文と写真 江東区文化観光ガイド 小澤 健一)

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています（お支払いは現金のみ）

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ めいぐるみ等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ
- ・キーホルダー
ほか

江東区の郷土料理を
ご家庭で

深川めしの素
(深川宿)
1個 810円(税込)



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております。日替わりホットコーヒー、「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）そして季節限定の「冷やし」をご用意。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第145号(2025年7月17日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

